

「医の会」も誕生しました。
サプスペシヤリテイと大学院より上を目指して

後期研修を終えたあとには、泌尿器科の特定のサプスペシヤリテイに特化した研修を継続することや、大学院への進学や海外留学などにより、一定期間基礎研究に没頭する事なども可能です。

筑波大学泌尿器科グループにおいて専門としているサプスペシヤリテイには、泌尿器腫瘍、下部尿路機能障害、男性機能障害(ED)、不妊症、尿路感染症などがあります。

筑波大学泌尿器科は泌尿器腫瘍の分野では国際的にも高い評価を受けていますし、下部尿路機能障害に関しては、大学院以外で施行する事は難しい尿流動態検査を年間300件程度施行しており、世界水準(年間200件以上)に照らし合わせても「検査センター」としての基準をクリア

しています。E)に関しては専門外来を開設して担当スタッフが診療・研究・教育に当たっています。手術に関しては、泌尿器腹腔鏡技術認定医・日本内視鏡外科学会技術認定医が5名在籍しており、直接その指導を受けることもできます。

研究面では、腎癌(発癌や薬剤感受性遺伝子の同定)、膀胱癌(膀胱癌の新規治療法の開発)、前立腺癌(発癌や進行予防)、下部尿路機能障害(低活動膀胱の治療法の開発)、精巣腫瘍(組織分化と抗癌剤感受性の関係)、ED(ED治療への増殖因子の応用)、感染症(尿路病原性大腸菌の研究)など幅広い分野の研究を行っており、その成果は国際学会で毎年演題が採択されるなど高く評価されています。

おわりに

「明るい雰囲気の中で、ワンランク上の泌尿器科医を目指して、楽しく研修したい！」

「日常臨床に留まらず、病態を深く考えたい！」

「東京から通勤圏で臨床と研究がしたい！」

そのような先生は、是非我々の教室を一度訪れてください。

我々は、自由闊達に議論できる明るい雰囲気、決して後悔はしないと思います。

我々とともに筑波大学泌尿器科の新時代を切り拓きましょう！
筑波大学腎泌尿器外科
診療グループ長…西山博之

お問い合わせ先…筑波大学泌尿器科(学系棟516)

担当…医局長 宮崎淳、
研修医教育担当 末富崇弘

TEL: 029-853-3223, F
ax: 029-853-8854

E-mail: urology@nd.tsuakuba.ac.jp